

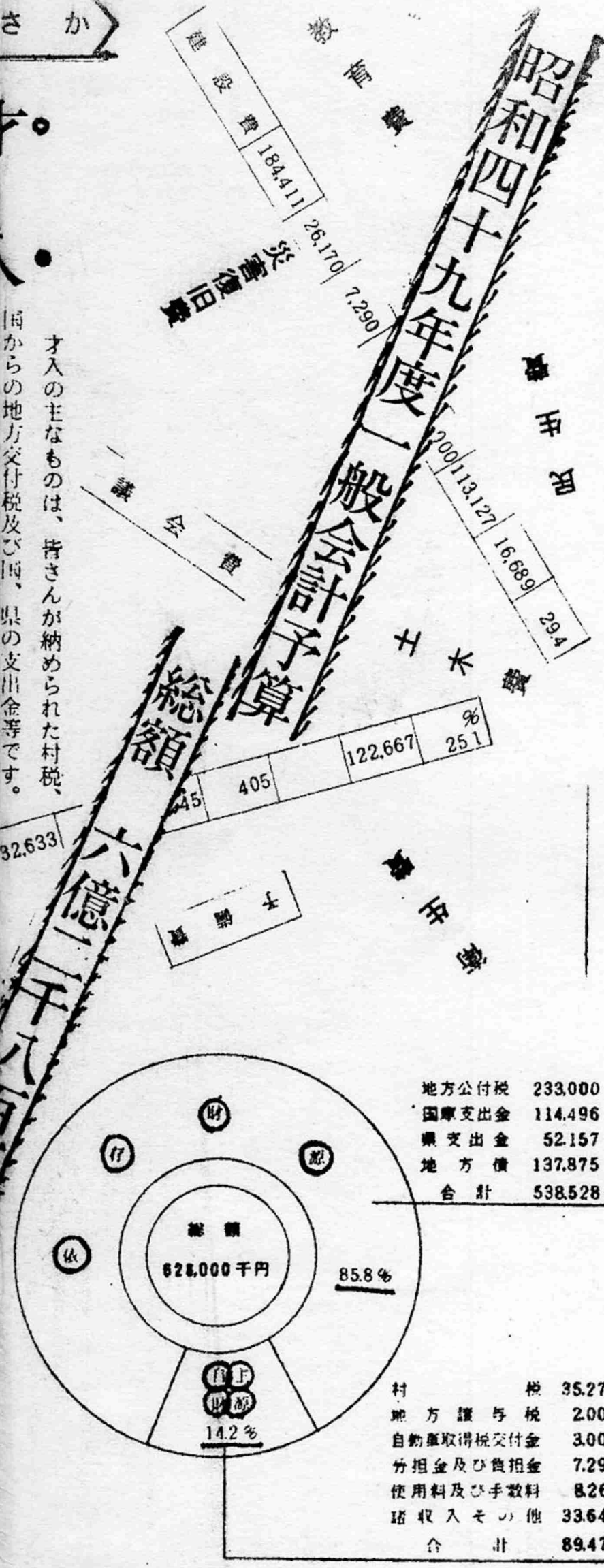
赤栄村の今年度の一般会計が発表された。それによると、予算総額は、なんと六億二千八百万円にも達している。たかが六百世帯

ほどの小さな村にとって、この六億円の意味は何であろうか。村役場の広報紙「広報やさか」にて読んで欲しい。

おく、本紙先号の「むらほ蘇生するめ、備懐するめ」の記事と合わせ

「蓄積と計画に基づいた家庭と村づくりを」

昭和四十九年度の村政を進める予算が、三月二十六日の定例村議会にて可決成立しました。この一般会計は、総額六億二千八百万円、前年度当初予算に比べ二十五・九パーセントの伸びを示しています。これは、四十七年七月の災害復旧事業が終りに近づいた事を示すものです。



才入

才入の主なものは、皆さんが納められた村税、国からの地方交付税及び国、県の支出金等です。村税のうち、中国電力株式会社の固定資産税が一、三〇〇万円あり大きな比重を占めています。

才出

才入の内訳を見てもわかるように、ほとんどを国、県に頼らなければならぬという非常に苦しい財政です。

農林水産業費

総額八、六四四万円、農業費に四、八九二万円、林業費に三、七五二万円が見込まれ閉体営草地造成、小角農道舗装、団体営小角農道舗装、林道等松線改良、林道欠ケ尾線舗装、公社造林等の工事費に二、七八一万円、各種負担金補助及び交付金等に二、六九七万円その他モデル農家育成に細かく配慮されています。

有線放送施設整備費、総合振興計画推進に関する費用及び部落自治会長の関係費、その他庁費等物件費の高騰に伴ない前年に比べ

昭和49年 5月10日発行 広報やさか

昭和49年 5月10日発行

昭和49年 5月10日発行

昭和49年 5月10日発行

昭和49年 5月10日発行

つぎに、予算案をみて気付く点を箇条に書き出してみよう。

1. 六億二千八百万円という、人口に比してアンバランスな巨額予算
2. 村の振興計画実施の才一

年であるにもかかわらず、農林水産業費が全体の二三・八%と少なく、それも農道・林道整備の、実質土木工学業費にあたるものである。

3. それに比べて、議会費・総務費がどう考えても多い。そのなかでも人件費が二五・一%

になっているが、これなど赤栄村特有の宴会政治費ではないかと疑える。

いずれにしても、これが予算案からみれば赤栄村の真姿であり、切り崩すか、かわれわれの仕事である。